

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 5 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23530315

研究課題名(和文) 中国企業間信用発達要因の解明

研究課題名(英文) Study of Determinants of Trade Credit Development in China

研究代表者

矢野 剛 (Yano, Go)

京都大学・経済学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：90314830

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円、(間接経費) 1,140,000円

研究成果の概要(和文)：第一に、中国省レベル集計パネルデータを用いた計量分析は、法制度の質と民営企業に対する銀行融資の活発さが、企業間信用発達の根源的要因であることを示唆した。第二に、現地調査及び中国企業マイクロデータを用いた計量分析により、現金の前払いやその形式をとったインフォーマル金融から企業間信用金融への変化・発展の最大の要因が法制度の質の改善にあることが明らかになった。第三に、企業マイクロデータを用いた計量分析は、より詳細な企業間信用の発達・法制度・市場の競争性・政府の腐敗・インフォーマル金融の間の因果関係も明らかにした。

研究成果の概要(英文)：First, econometric analysis using province-level panel data finds that proper functioning of the legal system and bank lending to non-state-sector firms are highly likely to be the essential causes of development of trade credit finance in China. Second, according to field survey and econometric analysis using firm-level micro data, improved quality of legal system can most strongly promote development of trade credit or evolution from informal finance in the form of advanced payment to trade credit. Third, another micro-econometric analysis disentangles in more details the causal relationships between development of trade credit, legal system, competitiveness of market, corruption of government, and presence of informal finance.

研究分野：経済学

科研費の分科・細目：経済政策

キーワード：経済発展 開発金融 企業間信用 法制度 市場の競争性 腐敗 中国

## 1. 研究開始当初の背景

中国の高度成長は、うまく機能しない正規金融を代替するオルタナティブな金融チャネルによる部分が大きいとする、Allen et al. (2005, J. of Fin. Econ.)の論争的なペーパーに端を発し、有力な「オルタナティブ金融チャネル」候補としての中国企業間信用(売掛・買掛・手形)に注目した分析が盛んになっている(Ge and Qiu, 2007, J. of Bank. and Fin.等)。この研究の流れと関連して、中国以外の途上国も含め「途上国経済における企業間信用を発達させる要因は何か」を考察する研究も盛んに行われるようになってきている。ここでは市場の競争性に着目した分析が目立つ(Fisman and Raturi, 2004, RES; Hyndman and Serio, 2009, J. of Dev. Econ.等)。

申請者は、早くからこのオルタナティブ金融としての中国企業間信用の実証分析に取り組んできており、市場の競争性以外にも、法制度の良好な機能、インフォーマル金融の浸透度、政府の腐敗の抑制も企業間信用発達促進に深く関連している可能性が高いことを検証仮説として得る状況に至っていた。

## 2. 研究の目的

この研究の最終目的は、中国企業間信用の発達要因の解明にあった。そのために研究目的を二段階に分割した。

第一段階としての目的として、法制度の機能が市場の競争性やインフォーマル金融の浸透、政府の腐敗にどのような影響を及ぼすかを明らかにしていくことを設定した。研究開始時点での検証仮説は、(a)良好に機能する法制度は、新規企業の市場参入と中小民間企業の活発な投資活動を促進することを通じて市場の競争性を高める、(b)法制度の機能不全が企業間取引における自生的秩序の形成を通じてインフォーマル金融を発達させる、(c)良好に機能する法制度は政府の府政を抑制し、貧弱な法制度は腐敗を促進する、であった。

そして第二段階、即ち計量分析による研究の完成段階における目的として、法制度の機能・市場の競争性・インフォーマル金融の浸透度・政府の腐敗が中国における企業間信用の発展にどのように貢献・関連しているかの総合的な解明を設定した。

## 3. 研究の方法

本研究課題では、現地企業からの聞き取り調査とミクロ・マクロデータを用いた計量分析により研究目的の達成が図られた。

### (1) 現地聞き取り調査

経済的先進地域である沿岸部と後進地域の内陸部の双方において企業聞き取り調査をおこなった。どの調査地においても、政府の腐敗・契約不履行といった所有権(非)保護問題に対して法制度の機能が良好ある

いは不全である結果として、企業創業、投資といった市場の競争性に直接的関連を持つ企業行動がどのように影響されるのが調査事項の中心となった。所有権保護問題からクリティカルな影響を受ける中小民間企業を調査対象とする。先進地域での調査においては法制度機能の良好性、後進地域においては不全性が調査の前提的枠組みとなる。そして後進地域においては、契約履行に関わる法制度の機能不全が、企業間信用の萎縮や民間企業に対する銀行の貸し渋りと、企業間貸借を主とするインフォーマル金融の浸透にどのように関わっているかにも重点が置かれた。

### (2) 計量分析

二種類の統計データを用いた計量分析が行われた。

一つめは、省レベル集計パネルデータを用いた計量分析である。ここではまず各種の公開資料に分散している情報より複数の市場競争度変数、法制度機能変数、政府の腐敗変数を省レベル集計パネルデータの形式で独自に作成した。それらを用いて、市場の競争性・法制度の質・政府の腐敗の少なさ・民間企業に対する銀行融資の活発さ、と企業間信用の発達との間の因果関係を、このレベルでの計量分析により探求した。

二つめは、企業レベルマイクロデータを用いた計量分析である。上述の市場競争度変数、法制度機能変数、政府の腐敗変数を省レベルからさらにディスアグリゲートして、市レベルパネルの形式で作成し直して、個別企業マイクロデータとのマッチングをおこなった。その上で個別企業の企業間信用与受信行動やインフォーマル金融の利用行動が、市場の競争性・法制度の質・政府の腐敗といった企業を取り巻く環境と、マイクロレベルでどのような関連をもっているかを計量的に探求した。

## 4. 研究成果

平成23～25年度期間に科学研究費補助金の交付を受けた当研究において、我々は以下のような研究実績を得ることができた。

第一に、中国省レベル集計パネルデータを用いた計量分析の結果、次のような統計的事実が見出された。企業間信用の発達要因として、市場の競争性・法制度の質・政府の腐敗の少なさ・民間企業に対する銀行融資の活発さのいずれもが有意な影響を与えているが、それら諸要因間にも複雑な因果関係が存在する。それを解きほぐすと、法制度の質と民間企業に対する銀行融資の活発さが、因果関係の出発点である。

第二に、現地調査及び中国企業マイクロデータを用いた計量分析により、次のような事実が解明された。先進地域では、政府の腐敗

への懸念の少なさや法制度への信頼の高さから、企業は信用取引に積極的であり、また新設企業の市場参入や創業が活発である。さらに、民営企業のインフォーマル金融への依存度も低い。それに対し、後進地域では、政府の腐敗への懸念や法制度への低い信頼を理由として信用取引は不活発で、新設企業の市場参入や創業には多くの困難がある。また、現金の前払いによる取引やインフォーマル金融のプレゼンスが比較的大きいことも明らかになった。これを裏付けるように、時系列的にも、中国民営企業の資金調達源が、現金の前払いやその形式をとったインフォーマル金融から企業間信用金融への変化・発展していくこと、及びその変化の最大の要因が法制度の質の改善にある。

第三に、企業マイクロデータを用いた計量分析は、より詳細な企業間信用の発達・法制度・市場の競争性・政府の腐敗・インフォーマル金融の間の関係も明らかにした。即ち、法制度の質の改善とインフォーマル金融の一定の発達を因果関係の出発点として、市場の競争性の高まりや政府の腐敗問題の軽減が媒介項となり、最終的に企業間信用の発達とインフォーマル金融の衰退に結果するのである。

以上の成果は既にペーパーにまとめられ投稿済み、あるいは投稿準備中である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 8 件)

- (1) Yano, Go, Maho Shiraishi, and Xohrat Mahmut (2011), "What Caused the 'Marginal Products of Labor-Wage Gap' in State-Owned Enterprises in China during the Early-Reform Era? A Reconsideration based on a Case Study in Henan.", *Journal of Chinese Economic and Business Studies*, Vol. 9 No.3, pp. 217-238 (doi: 10.1080/14765284.2011.592351).
- (2) Yano, Go and Maho Shiraishi (2011), "Efficiency of Trade Credit Finance in China.", *Comparative Economic Studies*, Vol. 54 No.1, pp. 203-225 (doi: 10.1057/ces.2011.30).
- (3) Hu, Haiqing, Maho Shiraishi, and Go Yano (2012), "Ownership Effects for

the Efficiency of Financial Intermediation through Trade Credit in China.", *The Journal of Econometric Study of Northeast Asia*, Vol. 8 No. 2, pp. 43-64.

- (4) Yano, Go, Maho Shiraishi, and Haiqing Hu, (2012), "Property rights, trade credit and entrepreneurial activity in China.", *Journal of the Asia Pacific Economy*, Vol. 18 No. 1, pp. 168-192 (DOI:10.1080/13547860.2012.742712).
- (5) 白石麻保・矢野剛 (2011) 「中国企業金融における企業間信用の利用実態 - 蘇南企業調査を中心に - 」 『アジア経済』第52巻第10号(2011年10月号), pp. 2-35.
- (6) 白石麻保・矢野剛 (2013) 「中国企業間信用のメカニズム分析 - 蘇南地域の企業聞き取り調査より - 」 『中国経済研究』第10巻第2号、pp. 21-43.
- (7) 白石麻保・矢野剛・吾買尔江艾山 (2012) 「計画期中国経済への数量経済史的アプローチ-資金配分に注目して-」 『経済論叢』第185巻第2号、pp. 1-15.
- (8) 白石麻保・矢野剛 (2012) 「人力资源的形成与经济体制-计划经济是改革开放的基础」 『人的發展経済学新進展：中日“人的發展経済学”第五次国際研究会論文選』、pp. 234-246 .

[学会発表](計 12 件)

- (1) Yano, Go "What Develops Trade Credit in China?: Preliminary Investigation", 2011年4月, 人間発達の経済学第4回日中会議(於北京政法大学), 国際学会
- (2) 矢野剛 「中国における企業間信用はどのような企業活動の資金源となっているか? 沿海部と内陸部の比較からの考察 (What Corporate Activities Does Trade Credit Finance in China? Comparison of Coastal and Interior

Areas)」, 2011年6月, 京都大学東アジア経済研究センター2011年第3回中国经济研究会(於京都大学)

- (3) Yano, Go "Soundness of Recent Economic Development in China: Financial Aspects", 2011年11月, ラオス国立大学(ラオス・ビエンチャン市), 招待講演
- (4) Yano, Go "Soundness of Recent Economic Development in China: Financial Aspects", 2011年12月, Symposium: Regional financial development in Time of Change(中国重慶市), 招待講演
- (5) Yano, Go "What Develop Trade Credit? Case of Provinces in China", 2012年5月, "Economic and Financial System Development in the Pacific-Rim Region"(米国・ホノルル市), 国際学会
- (6) Yano, Go "What Develop Trade Credit? Case of Provinces in China", 2012年9月, 日中共同シンポジウム(於黒竜江大学・黒竜江省ハルビン市)
- (7) Yano, Go "What Develop Trade Credit? Case of Provinces in China", 2012年9月, 経済統計学会第56回全国総会(於阪南大学)
- (8) Yano, Go "What Develop Trade Credit? Case of Provinces in China", 2012年9月, 人間発達の経済学第5回日中会議(於札幌学院大学), 国際学会
- (9) Yano, Go "Efficiency of trade credit finance in China: An empirical study using firm-level panel data from coastal areas", 2012年10月, 比較経済体制学会秋期大会(於大阪大学), 共通論題
- (10) Yano, Go "Trade Credit and Ethnicity: Case of Ethnic Minority Area in China", 2013年4月, "The Pacific Rim

Economies: Institutions, Transition and Development"(於ソウル大学), 国際学会

- (11) Yano, Go "Trade Credit and Ethnicity: Case of Ethnic Minority Area in China", 2013年8月, "Transformation of Economic Development Model: Ecological Environment Protection・Human Development"(於安徽大学), 国際学会
- (12) Yano, Go "What develop trade credit? Case of provinces in China", 2013年8月, The 59th World Statistics Congress (WSC) of the International Statistical Institute (ISI)(於香港), 国際学会

{図書}(計 0 件)

{産業財産権}  
出願状況(計 0 件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

{その他}  
ホームページ等

6. 研究組織  
(1)研究代表者  
矢野 剛(YANO GO)  
京都大学・大学院経済学研究科・准教授  
研究者番号: 90314830

(2)研究分担者  
( )

研究者番号：

(3)連携研究者  
( )

研究者番号：